

# MBS毎日放送 本社B館(新館) Aスタジオ・Bスタジオ



所在地：大阪府大阪市北区茶屋町17番1号  
 建築規模：地上15階、地下1階、塔屋1階  
 スタジオ面積：約500㎡ (Aスタジオ・Bスタジオ共通)  
 ホリゾント高さ：8.5m (Aスタジオ・Bスタジオ共通)  
 設計・施工：株式会社大林組  
 施主：毎日放送  
 グランドオープン：2014年4月

S254

MBS毎日放送に、最新の設備と免震機能を備えた本社B館が完成。  
 Aスタジオ、Bスタジオに、LED器具と最新の照明システムを導入し、  
 表現性の向上と、省エネ・省メンテナンスを両立しています。

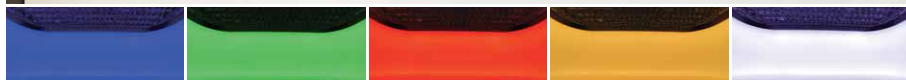
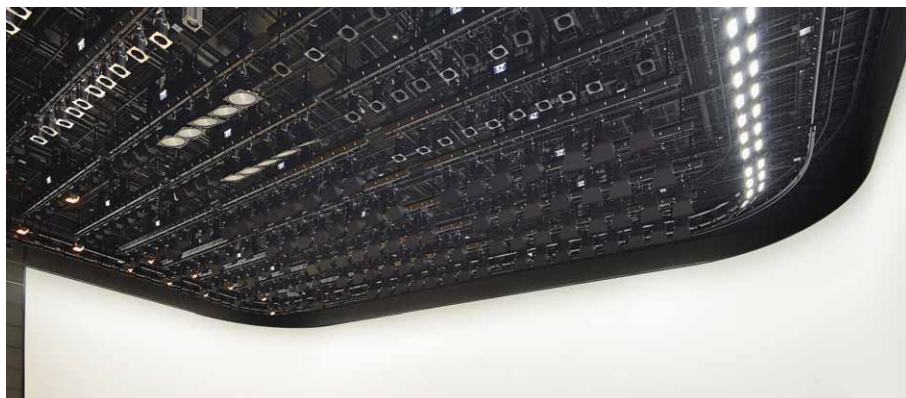
## 番組制作に携わる全部署でアイデアを持ち寄った理想のスタジオを実現

MBS毎日放送が、これまでユニバーサルスタジオなど4地域に分散していた拠点を一元化し経営資源を有効活用するため、本社ビル北側に、本社B館(新館)を新設。地上15階建のうち6フロアを同一仕様の2つの撮影スタジオ、Aスタジオ、Bスタジオが占め、制作・美術・技術・編成など番組制作に携わるそれぞれの部署がアイデアを持ち寄った理想のスタジオづくりを実現しています。

## 大規模なスタジオでは日本初LEDホリゾントライトを採用※1

Aスタジオ、Bスタジオとも、ホリゾント高さ8.5m規模で日本初となるLEDホリゾントライトを採用。ロー側に1列、アッパー側に2列配置した特注LEDホリゾントライトは、フィルターを使用せず調光操作卓からの操作で様々な色表現に対応し、パワフルな明るさと、色ムラのない「染まりの良さ」を実現。省エネ効果は、同等のハロゲン器具消費電力の約80%削減※2。さらに、最高表面温度75℃と発熱量が少ないためエアコンの使用電力も大幅に削減可能です。照明用電源の主幹容量も、LED化によって当初予定されていた1600Aから1200Aへダウン。設備もよりコンパクト化しました。

調光操作卓は、プリセットフェーダーに替わるベルトエンコーダーを採用。さらに同様の操作が行えるタッチ式のグラフィックパネルとの2段仕様により、幅広い照明演出に対応可能です。LEDホリゾントライトのカラー制御は、調光操作卓右手のタッチパネルによって行い、RGB制御、CMY制御が可能のほか、カラーピッカー機能も搭載しています。さらに、調光操作卓と同様の機能を備えた移動式のタッチパネル調光操作卓を1台、両スタジオで共有し、フロアからでも自在に各操作が可能です。また、ムービングライトの使用を踏まえ、エリアボタン、バックボタン、グリッド上、フロアに200V電源を供給しています。



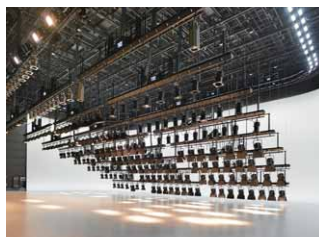
ホリゾント高さ8.5m規模のスタジオでは初となるLEDホリゾントライトを採用※1



副調整室内の調光操作卓



明るく、色ムラのないLEDホリゾントライト



スタジオ全景



LEDホリゾントライトのカラー制御画面



移動式のタッチパネル調光操作卓

主な照明器具一覧				
設置場所	器具名	形名	台数	備考
Aスタジオ 副調整室 (Bスタジオも同一仕様)	インテリジェント型調光操作卓	特注	1式	チャンネルエンコーダー(60本)、チャンネル用タッチパネル(6台)、マルチエンコーダー(40本)、プレイバックパネル/マスタパネル/セッティングパネル/23型タッチパネル/手書入力装置、ワイヤレス操作器(4式)、DMX制御(入出力94系統)、デュアルランニングCPU、アラーム監視機能
Aスタジオ フロア (Bスタジオも同一仕様)	LEDホリゾントライト	特注	UH:168台 LH: 70台	R(赤)G(緑)B(青)W(白)LED搭載 消費電力:140W
	照明バトン	—	1式	エリアバトン×30本、ホリゾントライトバトン×8本、バックバトン8本
	美術バトン	—	1式	内部バトン×14本、外周バトン10本
Aスタジオ 調光盤室 (Bスタジオも同一仕様)	インテリジェント形調光器盤	DIMSTAR-Ⅲ、ハイブリッド調光器の採用	1式	調光主幹盤:1250AF/1200AT、調光回路数:3kW×144回路、6kW×118回路(うち80回路はハイブリッド回路)、直回路数:2kW×36回路
Aスタジオ、Bスタジオ共有	タッチパネル調光操作卓	特注	1式	2画面構成で可動収納ラックに実装。調光操作卓と同様の操作がフロアで可能。

※1 2014年2月現在、当社調べによる。  
 ※2 1日8時間365日点灯の場合、同台数でUH:750W、LH:500Wで試算。